

## Japanese 8A

## Section 1

Instructor/Title	Tomomi Matsumura
Office/Building	Instructor's lounge / Gotenyama

## 【Course Outline / Description】

日本語8のコースは最も上級レベルで、日本語能力検定試験1級(N1)合格者、またはそれに同等レベルの学生が対象である。授業では、映画、テレビ番組、ニュースなどの教材を主に使用し、その内容把握とクラスメートや日本人学生とのディスカッション、パワーポイントを使用した発表などを行う。国や文化の比較や社会的な話題に関する問題を理解し、適切な表現を使って話せるようになる。

## Section 2

## 【Course Objectives/Goals/Learning Outcomes】

1. 映画やテレビ番組などを通じて日本語と日本文化の理解を深め、それに関連させて自分の意見や考えを詳しく述べるができるようになる。特に、ディスカッションや発表などにおいて適切な日本語で流暢に自分の考えをわかりやすく話せるようになる。
2. 多様な考え方を受け入れ、コミュニケーションを損なわないように相手を尊重しながら、意見を述べるができるようになる。また、場面や相手に応じて様々なスピーチスタイルが使い分けられるようになる。

## Section 3

## 【Class Schedule/Class Environment, Literature and Materials】

	授業	宿題(授業の前に)
1	オリエンテーションと個人面談	
2	Unit 1 ①「仕事と恋愛」	Unit1ab 単語の確認、「見る前に」
3	Unit 1 ②	単語の確認、「ディスカッションポイント a」
4	Unit 1 ③	単語の確認、「ディスカッションポイント b」
5	Unit 1 ④	Unit 1 の文法の説明を読み、例文を作成
6	Unit 1 ⑤ 日本人ゲスト ★単語・表現クイズ1	ディスカッション準備シート
7	Unit 2 ①「家族愛」	Unit2ab 単語の確認、「見る前に」
8	Unit 2 ②	単語の確認、「ディスカッションポイント a」
9	Unit 2 ③	単語の確認、「ディスカッションポイント b」
10	Unit 2 ④	Unit2 の文法の説明を読み、例文を作成

11	Unit 2 ⑤ 日本人ゲスト ★単語・表現クイズ2	ディスカッション準備シート
12	Unit 1と2のまとめ	作文シート
13	★ユニットテスト1	Unit1 と 2 の復習
14	発表の準備 日本人ゲスト	インタビューシート
15	発表 準備	発表の準備
16	発表 ①	発表の準備
17	発表 ②	発表の準備
18	発表 ③	発表の準備
19	Unit 3 ① 「ひきこもり」	Unit3ab 単語の確認、「見る前に」
20	Unit 3 ②	単語の確認、「ディスカッションポイント a」
21	Unit 3 ③	単語の確認、「ディスカッションポイント b」
22	Unit 3 ④	Unit3 の文法の説明を読み、例文を作成
23	Unit 3 ⑤ 日本人ゲスト ★単語・表現クイズ3	ディスカッション準備シート
24	★中間口頭試験	Unit1~3 の復習
25	★中間試験	Unit1~3 の復習
26	中間FB・期末プロジェクト説明	プロジェクトシート
27	Unit 4 ① 「おもいやり」	Unit4ab の確認、「ディスカッションポイント a」
28	Unit 4 ②	単語の確認、「ディスカッションポイント b」
29	Unit 4 ③	Unit4cd 単語の確認
30	Unit 4 ④ ★単語・表現クイズ4-1	単語の確認、「ディスカッションポイント c」
31	Unit 4 ⑤	単語の確認、「ディスカッションポイント d」
32	Unit 4 ⑥	Unit4 の文法の説明を読み、例文を作成
33	Unit 4 ⑦ 日本人ゲスト ★単語・表現クイズ4-2	インタビューシート
34	★ユニットテスト2	Unit4 の復習
35	期末プロジェクト 日本人ゲスト	プロジェクトインタビューシート
36	期末プロジェクト 準備	プロジェクト発表の準備
37	期末プロジェクト ①	プロジェクト発表の準備

38	期末プロジェクト ②	プロジェクト発表の準備
39	期末プロジェクト ③	プロジェクト発表の準備
40	期末プロジェクト ④	プロジェクト発表の準備
41	期末プロジェクト ⑤	プロジェクト発表の準備
42	Unit 1～4のまとめ	作文シート
43	期末前の復習	文法シート
44	期末前の復習	全範囲復習
45	★期末口頭試験	全範囲復習

\*テーマに沿って各ユニットで一つの視聴覚教材（映画、テレビ番組など）について議論する。以下の流れで授業を行い、5～7回（450～630時間）で一つのテーマを終える。

- 1、 前回の授業で導入した単語の確認
- 2、 使用教材に出てくる単語の導入と練習
- 3、 宿題の確認
- 4、 宿題から発展させたディスカッション
- 5、 例文を使用した文法の導入と練習
- 6、 日本人学生とのディスカッション
- 7、 まとめの作文

### 【Textbooks/Reading Materials】

クラスで配られるハンドアウトと視聴覚教材（映画、テレビ番組など）を中心に授業を行います。またそれぞれのユニットで、日本語能力試験 N1, N2 の語彙・表現をカバーします。テスト前に見直しができるようにきちんとまとめておいてください。

### Section 4

- ・授業外学修……………10%
- ・単語・表現クイズ……………10%
- ・発表……………15%
- ・レッスンテスト……………15%
- ・中間試験……………20%
- ・期末試験……………30%

A+ (97-100), A (93-96), A- (90-92)

B+ (87-89), B (83-86), B- (80-82)

C+ (77-79), C (73-76), C- (70-72)

D+ (67-69), D (63-66), D- (60-62)

F (0-59)

- \*発表や中間試験のフィードバックは個別に口頭で行う。
- \*授業外学修は別途プリントを配布する場合もある。

## Section 5

注意事項：

1. 授業を欠席した場合は、最終成績から 0.5 点減点し、遅刻した場合は 0.2 点減点します。25 分以上遅刻した場合も欠席として扱います。
2. 少人数のクラスなので、一人一人の発言が重要です。できるだけ授業を欠席しないようにしてください。欠席することが事前にわかっている場合は必ず連絡してください。欠席した場合のハンドアウトは基本的に次の授業で渡します。欠席した人は授業の内容をクラスメートか教師に聞くなどして、遅れをとらないようにしてください。次の授業の宿題もきちんと出せるようにしておいてください。
3. クイズ・テスト・試験は、病気や事故など緊急事態以外の理由で追試（make-up test）を受けることはできません。日時の変更もできません。病気の場合は医者診断書が必要です。
4. 大学の試験問題がネット上などで悪用されるケースが問題となっており、関西外大では情報保護のため、試験問題の返却が禁止されたので、試験の結果を確認後、再度回収します。
5. 授業中、携帯電話の使用を禁止します。辞書機能も使わず、言葉に関する質問は教師にその場で聞いてください。机の下で隠れてメールやラインなどをしているのが分かった場合は授業に参加していないと見なし、CIE に報告されます。
6. 常に自分で予定表を確認し、宿題は締め切りの日の授業のはじめに提出してください。遅れて提出した場合は減点します。
7. 上級レベルの学生である自覚を持ち、必ず予習、復習をしてください。
8. 学期が始まって最初の二週間間に、日本語の能力がこのクラスのレベルに満たないと判断された場合は、クラスを変更することがあります。